



Fly for it!

一緒に、もっと飛べる。

「一緒に創るプロジェクト」 2020年4月から制服デザインを一新します

2018年8月23日
第18062号

JALは、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」(以下、東京2020大会)のオフィシャルエアラインパートナーとして、JALの東京2020大会へのコミュニケーションスローガン「Fly for it! 一緒に、もっと飛べる。」(*1)に込めた思いを体現したプロジェクトを、2020年に向けて実施します。

(*1)2018年4月28日付プレスリリース『2020年とその先の未来に向けたコミュニケーションスローガン「Fly for it! 一緒に、もっと飛べる。」を決定!』
<http://press.jal.co.jp/ja/release/201804/004706.html>

スポーツ以外の分野でも皆さまと一緒に進める取り組みの第1弾として、2013年に着用を開始した現行制服のデザインを一新し、またSDGsが目指す社会の実現へ貢献するプロジェクトを始動します。

まず、新しい制服の選定過程には、皆さまにも参加いただく機会をつくり、2020年、そしてその先も長く皆さまに愛される制服を「一緒に」創りあげます。

また、客室乗務員、空港などで勤務をする地上スタッフが着用するスカーフのデザインを一般公募にて決定し、海外から多くのお客さまをお迎えする2020年の期間限定で着用します。

1. 新制服着用開始時期:
2020年4月(予定)

2. 対象:
航空運送事業に関わる全部門の制服

3. SDGsが目指す持続可能な社会の実現への貢献

JALはこれまでSDGs達成に向けて持続可能なサプライチェーンの構築に取り組んでまいりました。今般、本プロジェクトでは、お取引先さまと一緒に東京2020大会において示されている「持続可能性に配慮した調達コード(*2)」への対応に取り組むことを通して、SDGsが目指す持続可能な社会の実現へ貢献してまいります。

(*2)経済合理性のみならず、公平・公正性等に配慮して、大会開催のために真に必要なサービスを調達していくとともに、持続可能性を十分に考慮した調達を行うために東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会により策定された指針のこと。

4. その他

選定内容や進捗状況、スカーフのデザインの一般公募の詳細などの新着情報は、随時「Fly for it! 一緒に、もっと飛べる。」特設WEBサイト(<http://www.jal.com/ja/flyforit/>)にて公開します。



東京2020オフィシャルエアラインパートナー

JALは東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のオフィシャルエアラインパートナーです。